

埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

平成29年度 関甲信支部・ 首都圏支部医学検査学会 (第54回) を終えて

学会長 津田 聡一郎
(株式会社アムル 上尾中央臨床研究所)

学会に参加していただいた多くの皆様に御礼を申し上げます。また、学会を支え動かしてくれた多くのスタッフに、心から感謝しつつお伝えします「お疲れ様でした」。

前の週に台風が通過して、これでお天気は大丈夫だろうと思ったら、異例の2週連続の台風を迎えてしまい、日曜の後半には参加された多くの皆さんにご苦勞をお掛けしていたと思います。私・支部学会長が“嵐を呼ぶ男”だったと記憶に刻んでお許しください。

この紙面をお借りして会員の皆さんに私から何かをお伝えするには、まだまだ気持ちが治まっておらず、ただただ、「ありがたい言葉」と「感謝の気持ち」がこみ上げてくるばかりで文章になりません。申し訳ありません。

充実感に浸りきった支部学会長が目を潤ませてたたずんでいる姿なんて、気持ちが悪いだけかもしれないですが、ここではそれをお伝えするばかりです。

結びに、実は、もう既に来年度の県学会実行委員会が動き始めていることをお伝えします。埼臨技の事業がこうして継続して行われ続けて、会員・賛助会員を初めとする大勢の方々には有益な「会」であることを祈念し、そして誇りに思っていることを記します。

ありがとうございます。



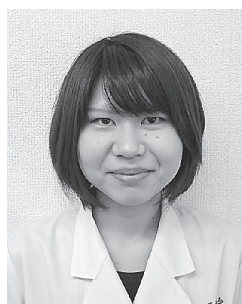
全国『検査と健康展』開催される

去る、11月11日(土)に浦和コルソを埼玉会場として「全国『検査と健康展』」を開催しました。全国「検査と健康展」は日臨技が主催する事業であり、11月11日の「臨床検査の日」を中心に全国の都道府県技師会が、一般市民の方々に臨床検査の正しい知識の啓発と検査技師のPRのために行っている公益事業です。当日は天候にも恵まれ、多くの市民の方に来場いただきました。実務委員一同のチームワークで、スムーズに検査と誘導を行うことができ、事故やトラブルもなく終えられたのも、参加いただいた実務委員のみなさまのおかげです。

以下に今回スタッフとして参加した若手技師さんの感想を記載します。



浦和医師会メディカルセンター 検診部 佐藤 有花



今回の「検査と健康展」は一般の方を対象に、骨密度測定や血管年齢測定と、それに伴う簡単な検査説明や結果の見方についての説明を行いました。また、乳がん自己検診用モデルを用い、実際に模型に触れて頂くことで自己検診の大切さを伝えました。

今回、私は主に骨密度測定をお手伝いさせていただきました。当日は、朝早くから足を運んでくださった方も多く、開始前から列ができました。一般の方々の健康への関心度は、私が想像していた以上に高く、終了時間ぎりぎりまで検査を受けたり、熱心に技師や医師の説明を聞いたりする様子が印象的でした。

私は普段、健診業務に携わっていますが、限られた時間の中でしかお話が出来ないので、今回色々な方とゆっくりお話しできたことや、たくさんの人の笑顔が見られたことは、とても嬉しく感じられました。

そして、臨床検査技師を知らない人や検診を受ける機会があまりない人達にも、わたしたちの存在をアピールし馴染みを持っていただくことができたように思います。

これからも今回のような事業を通じて、臨床検査技師の認知度が高まり、さらには市民が検診の重要性を知る機会につながれば本望です。今回は参加させていただきありがとうございました。

大野みどり（東松山市立市民病院）

実務委員：原誠則 星孝夫 網野育雄 軍司雅代 波多野佳彦 蔵光寛行 石井千晴

参加人数：会員36名 学生1名

出席した研究班班員：原誠則 星孝夫 網野育雄 圓田和人 軍司雅代 波多野佳彦
蔵光寛行 石井千晴

研修内容・感想など

午前に講義、午後は初級者コースと初心者コースに分かれて顕微鏡を使用し、持参してもらった各施設の抹消血液塗抹標本の染色状態の確認と、研究班で用意した標本の観察を行った。ご参加ありがとうございました。

以下に其々のコースに参加した受講者の感想文を掲載する。

（文責：石井千晴）

■ 初心者・初級者血液形態セミナーに参加して ■

新久喜総合病院 小林 美怜

私がこの講習会に参加させて頂いた理由は、血液像を少しでも早く見られるようになって仕事が正確かつ円滑に進めたいということと、基礎作りをしっかりとしたいと思ったからです。

講習会に参加する前は本当に学生並みの知識しか持っていなかったのいろいろな不安で恥ずかしい気持ちもありました。しかし、スタッフの方々が親身に接して下さったおかげもあり、分からないことが恥ずかしいという気持ちよりもたくさん聞いて学びたい、吸収して成長したいという気持ちの方が大きくなりました。

講習が終わるころには苦手意識のあった血液像が楽しくなったので自分から進んで見ていこうと思えるようになりました。また機会があれば絶対参加したいです。

行田中央総合病院 丸山 裕子

血液形態セミナーには初めての参加でした。普段血液像を見る機会がほとんどなく知識が浅いので、いざ血液像を見たとき、全くわからないという状況が多く悔しかったため、知識を深めるべく参加させていただきました。

午前は詳しい正常血球の形態の講義があり、午後からは実際にスライドを見ながら勉強しました。正常な血液像と成熟過程が分かりやすいCMLを見てから様々な症例について詳しく教えていただけただけで知識が浅い私でもついていくことができました。

ATLなど希少な症例の血液像も実際に鏡検できたのが印象的で、研究班班員の方の鏡検時のコツや、経験してきた中での特徴など教科書だけでは分からない貴重なアドバイスも聞けたのでとても分かりやすかったです。また、他院の技師さん達が普段どのように染色し、どのようなことに注意しながら血液像を見ているのか意見交換もできて私も頑張ろうと思いました。

今回のセミナーに参加したことだけに満足せず、ここで得た知識をさらに臨床に活かせるよう、これからも日々勉強して目を肥やしていきたいです。本当にありがとうございました。



テーマ **新しい時代の輸血業務に向けて**
～ 血液製剤使用指針と輸血感染症からのアプローチ ～

主催 輸血検査研究班

実施日時：平成29年11月15日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 603号室 点数：専門教科－20点
講 師：山本 匠（厚生労働省 医薬・生活衛生局）
岡田義昭（埼玉医科大学病院 輸血・細胞移植部）
参加人数：会員62名 賛助会員 2名
出席した研究班班員：山田攻 渡邊一儀 久保居由紀子 長谷川卓也 野呂光恵 佐藤祥子
神戸考裕

研修内容・感想など

今回の研修会はいずれも将来的な展望を視野にいたれた重要な内容について、各専門家を招き詳細な解説をいただいた。

初めの演題は、今年の3月に改訂作業が行われた『血液製剤の使用指針』について、山本氏からその変更点について説明していただいた。輸血においては、血液製剤の適正使用が提唱され、『血液製剤の使用指針』はその推進の為に作成されているのは言うまでもない。今回の改訂は前回以上に具体的な疾患名等の表示を増やして、トリガーとなる検査値もより細かな表記にしている。特にそのような表記について輸血学会等の科学的な根拠を前提に設定した点が特徴であり、項目ごとに推奨度を設けている点が注目に値する。今後このような点がより強調されていくことで、指針が適正輸血のための根拠としてより決定的なものになると予想された。

次に輸血による新興・再興感染症について国立感染症研究所に勤務されていた岡田氏より講演いただいた。

近年、グローバル化による人の行き来がより活発になり容易に感染源が持ち込まれる。更に地球温暖化の影響により蚊の生息範囲が拡大して、今まで特定の地域では確認されなかった感染症が報告される機会が増えている。この講演では実際の経緯も踏まえながら感染症がいかにか持ち込まれ、どのようにして発見に至ったか、また最終的にどうなったか等、わかりやすく解説いただいた。次世代シークエンサーにより病原性が不明なウイルスが容易に検出できる時代になったものの、微生物が発見されてから疾患を探す時代になっており、また長い潜伏期を経て発症する感染症対策については困難であるという解説が印象に残った。

フロアからも活発に質疑が行われ有意義な研修会であった。

(文責：山田攻)

テーマ L-FABP検査について学びましょう

主催 血清検査研究班

実施日時：平成29年11月22日 19時00分～21時00分
会 場：大宮ソニックシティ 905号室 点数：基礎教科－20点
講 師：吉尾 仁美（富士レビオ）
参加人数：会員22名
出席した研究班班員：庄司和春 大島まり子 鈴木淳子 鯨井智子 多川裕介 天野直樹
研修内容・感想など

まず、慢性腎臓病（CKD）と糖尿病性腎症について講演いただいた。CKDは慢性に経過するすべての腎臓病を指し、原因は生活習慣病や慢性腎炎が代表的でメタボリックシンドロームとの関連も深く、誰もがかかる可能性のある病気である。日本では約1330万人（成人の8人に1人）いると考えられている。CKDの重症度は尿中アルブミン量または尿中蛋白量と糸球体濾過量（GFR）で決定される。最近では尿中アルブミンや尿中蛋白量が多くないにもかかわらずGFRが悪い患者が増えているのが特徴である。糖尿病性腎症は糖尿病三大合併症の1つであり、透析導入患者数が年々増加しており、現在では新規透析導入患者の原疾患の1位になっている。初期に自覚症状は無く、予後が悪い事から早期診断が重要であるが、糖尿病診療ガイドラインで尿中アルブミン測定が有用であると明記している。

次にL-FABPについて講演いただいた。尿中L-FABP（Liver-Fatty Acid Binding Protein：L型脂肪酸結合蛋白）は腎臓の近位尿細管細胞の細胞質に局在しており、エネルギー産生・恒常性の維持に寄与しているが、近位尿細管における虚血や酸化ストレスが起きるとL-FABPの発現が亢進され尿中への排泄が増加する。組織障害が進行する前に排泄が増加するのが従来のマーカーと異なる点であり、糖尿病性腎症の進行リスクの判別、慢性腎臓病の早期診断、腎疾患のモニタリングや治療効果の判定に有用とされている。また、より早期の急性腎障害（AKI）や造影剤腎症の発症を予測しうる事が明らかになっており、さらなる活躍が期待されている。

今回は非常に興味深い話を聞くことができ、有意義な内容であった。

(文責：天野直樹)

平成29年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第8回 理事会議事録

日 時：平成29年11月9日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事)津田 島村 岡田 矢作 小山
奈良 猪浦 長岡 松岡 小島
石井 濱本 藤井 神嶋 伊藤
濱田 山口 武関 鳥山 阿部

(監事)遠藤

欠 席：(理事)神山 長澤

(監事)細谷

本日の理事会の出席者は21名であった。理事の出席者は20名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告 (平成29年10月12日～平成29年11月8日)

10月12日(木)平成29年度第7回理事会：

津田、神山、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、石井、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、山口、鳥山、阿部、遠藤、細谷

10月12日(木)第46回埼玉県医学検査学会実行委員会準備会会議：長岡

10月19日(木)第61回埼玉県公衆衛生県知事表彰授賞式：津田、神山

10月20日(金)第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会第9回実行委員会：津田、濱本、小山、神山、岡田、矢作、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、石井、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、山口、鳥山、武関、阿部

10月27日(金)第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会前日準備：

津田、濱本、小山、神山、岡田、矢作、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、石井、藤井、長澤、神嶋、山口、鳥山、武関

10月28日(土)第12回深谷市福祉健康まつり：濱田、阿部

10月28日・29日(土・日)第54回日臨技関甲信・

首都圏支部医学検査学会：津田、濱本、小山、神山、岡田、矢作、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、石井、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、山口、鳥山、武関、阿部

10月28日(土)一都八県ホームページ委員会：矢作

10月28日(土)関甲信支部内連絡会議：神山、岡田、津田

11月4日(土)第11回 埼玉医療安全大会：津田

11月6日(月)第2回表彰審査選考委員会：津田、神山、島村、岡田、矢作、小山

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

- 1) 10月19日、第61回埼玉県公衆衛生大会式典に津田会長が来賓として出席した。
- 2) 日臨技より「医療安全推進週間」の広報について連絡があった。
- 3) 日臨技より「会員施設実態調査」及び「会員意識調査」実施協力の依頼の連絡があった。
- 4) 日臨技より「平成30年賀詞交換会」「法律改正報告会」「日臨技情勢報告会」並びに「全国幹事連絡会議」開催の連絡があった。津田会長、神山副会長、岡田副会長が出席予定。
- 5) 11月4日、第11回 埼玉医療安全大会へ来賓として津田会長が出席した。
- 6) 11月6日、第2回表彰審査選考委員会を開催した。

2 総務部

- 1) 「埼臨技だより」第462号、11月15日発行予定

3 事業部

- 1) 10月28日、第12回深谷市福祉健康まつりが開催された。
- 2) 11月11日、浦和コルソで開催される 全国「検査と健康展」の実務委員について

4 学術部

- 1) 特になし。

5 精度保証部

- 1) 特になし。

6 会計部

- 1) 平成29年度正会員費10名分50,000円、入金金10名分10,000円、合計60,000円の入金があった。
- 2) 生涯教育推進研修会助成金50,000円×1研修会、44,500円×1研修会、41,500円×1研修会、合計136,000円の入金があった。
- 3) 極東製薬工業より疑似便特許使用料平成29

年度上半期分274,418円の入金があった。

- 4) 石井印刷へ、埼臨技だよ461号印刷代121,947円を支払った。

7 精度管理委員会

- 1) 平成30年3月22日、埼玉県臨床検査精度管理事業結果講習会を開催する。

8 一都八県会長会議

- 1) 10月28日、HP委員会が開催された。
- 2) 10月28日、関甲信支部内連絡会議が開催された。

9 日臨技関甲信支部

- 1) 特になし。

10 日臨技

- 1) 特になし。

11 第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会

- 1) 10月28日・29日、日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会(第54回)が、ラフレさいたまにて開催された。

12 第46回埼玉県医学検査学会

- 1) 10月12日、第46回埼玉県医学検査学会実行委員会準備会会議が開催された。
- 2) 11月2日、埼臨技事務所倉庫鍵及び学会長印借用書を提出した。
- 3) 11月9日、学会用通帳の借用書へ署名予定。

Ⅲ. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(平成29年度分)
平成29年11月1日現在

会員数 2,915名

(新入会員 263名[平成28年度会員数2,730名])

賛助会員 85社[平成28年度 82社]

承認された。

- 2) パートタイマー労働者就業規則の慶弔規程の追加について

承認された。

- 3) 日臨技各賞候補者推薦について

第2回表彰審査選考委員会の報告を受け、該当者なしとすることで承認された。

2 総務部

- 1) 特になし。

3 事業部

- 1) 特になし。

4 学術部

- 1) 臨床化学検査研究班、班員欠員に伴う補充について

707762 羽田 幸加氏(LSIメディエンス 川越ラボラトリー)が承認された。

5 精度保証部

- 1) 特になし。

6 会計部

- 1) 特になし。

7 精度管理委員会

- 1) 特になし。

8 第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会

- 1) 特になし。

9 第46回埼玉県医学検査学会

- 1) 開催概要について

会場：大宮ソニックシティ

会期：平成30年12月2日(日)

上記の会期にて承認された。

- 2) 第46回埼玉県医学検査学会実行委員について

別紙資料のとおり承認された。

Ⅳ. 議題

- 1) 他団体研修会における共催並びに生涯教育点数について

山口学術部長より平成30年度以降の遺伝子・染色体連絡委員の交代について発言があった。これを受け理事会審議の結果、遺伝子・染色体検査に従事している会員を調査し、継続審議とすることで承認された。

- 2) 認定救急検査技師からのアンケート調査協力願いについて

山口学術部長より認定救急検査技師からのアンケート調査協力願いについて発言があった。これを受け理事会審議の結果、今回の依頼は非公式なグループからの協力依頼であり、学会等からの協力依頼を得た後、審議を行うこととした。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。



お知らせ

埼臨技事務所の年末年始休暇について

平成29年12月28日(木)～平成30年1月5日(金)

上記期間事務所はお休みになります。

土・日・祝のため、事務所仕事始めは9日となります。

求人案内

○医療法人愛應会 騎西クリニック病院

採用条件：正職員

連絡先：0480-73-3311 採用担当 関

○医療法人 山柳会 塩味病院

採用条件：正職員 臨時職員（パート） 非常勤職員

連絡先：048-467-0016

法人人事部長 神谷秀悟

○草加市立病院

採用条件：臨時職員（パート）

連絡先：048-946-2200 内線3004

経営管理課 赤阪

○特定医療法人 俊仁会 埼玉よりい病院

採用条件：正職員

連絡先：048-579-2788 事務長 井上

○医療法人社団 富家会 富家病院

採用条件：正職員 臨時職員（パート）

連絡先：049-264-8811 人事課 小出

○医療法人社団 協友会 彩の国東大宮メディカルセンター

採用条件：正職員

連絡先：048-665-6166

人事課 採用担当 大山

○医療法人 大宮シティクリニック

採用条件：正職員 臨時職員（パート）

連絡先：048-645-1256 本部長 星野

○社会福祉法人恩賜財団母子愛育会

総合母子保健センター 愛育病院

採用条件：正職員1名

連絡先：03-6453-7300 管理課 熊沢

○深谷寄居医師会 メディカルセンター

採用条件：正職員 臨時職員（パート）

連絡先：048-572-2411

健診Ⅱ課 田畑

○川口市立医療センター

採用条件：臨時職員（パート）

連絡先：048-287-2525 庶務課 白川

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

あ と が き

皆さんの施設ではインフルエンザ陽性患者は出ていますか？ 近隣の医療機関では出はじめたと聞きますが、栗橋病院では9月に2件単発の陽性者がいましたが、その後出ていません。（12月1日現在）

ネットで2017-2018年の流行を調べていたら、「健康の気になるあれこれ」～臨床検査技師が運営する健康・医療の情報ブログ～、という臨床検査技師によるブログを発見しました。そこには12月頃から増え始め、1月～3月が流行期、ピークは…1月下旬～2月上旬（1月第4～5週目が最も危険！）と書かれていました。一般の方向けに分かりやすく書かれていましたが、ピーク予想の根拠をもう少し明確に書いてあれば・・・とチョット辛口な思いで読ませていただきました。

予防策としては、手洗い、予防接種、部屋の温度・湿度管理が挙げられていました。今年はワクチンが足りず、予防接種を受けていない方もいると思いますが、まずはできる対策を行い、楽しい年末年始！ 良いお年をお迎えください。

（猪浦 記）

